

花咲く街の花いろいろ

TOKYO FLOWER



契約栽培、契約販売が基本



松澤 育男

他の人の手がけていない物を作る



相田 松雄

労働力 家族2人 雇用3人(うち臨時2人)
経営面積 施設1000㎡ 露地25a

栽培品目	播種期	定植期	出荷期
シクラメン	10月	9月	11~12月
サイネリア	8		2~3
ゼラニウム	12		4~5
バーベナ	1		5
マリーゴールド	1	2	4
センパフローレンス	1	3	5~6
インパチェンス	2	4	6~7

花たちとのであい

私の家は、野菜と米作の農業でした。いつも父のところへ来ていた都の普及員の先生にすめられ、見学会に出席しました。そこで、温室の中にグロキシニアの緑とビロードの花を見て、これが自分の人生と思いました。

経営の特徴

都市の中で、いかに効率のよい農業を確立していくかが私の課題です。そして、つねに消費者に喜ばれる花の栽培を心がけています。現在は市場出荷と庭先売りと契約栽培が中心です。

将来の夢

長男が後を継ぐので、販売・流通面を都内に置き、県外に新しい農場を作りたいと思います。

労働力 家族3人
経営面積 施設4000㎡ 露地20a

栽培品目	播種期	定植期	出荷期
マラコイダス	5月	10月	12~1月
マツモトセンノウ	5(株し木)	10	4~5
ワスレナグサ	10	11	4
ベチュニア	11	1	3~4
バーベナ	10(株し木)	1~2	4~5

花たちとのであい

野菜農家でしたが、親類に花作りがいたので花作りを始めるようになりました。

経営の特徴

一般的な鉢花も作っていますが、他の人があまり作っていないマツモトセンノウなどのほかに数種類の鉢花を作り、市場出荷に努めています。すべての鉢花生産には愛情を込め、消費者の手に渡って満足のしてもらえる良品質の花の生産に努めています。

将来の夢

生産の省力化に努めることが、今後の課題です。また、花き生産者にとって厳しい現在の税制を緩和してほしいものです。

編集後記

東京の花き生産の歴史は古く、今をさかのぼること400年、江戸の昔から常に消費者ニーズに支えられ、今日にいたっております。このような歴史を重ねた東京で、1968年に第17回の日本花卉生産者大会が開催されております。

当時、東京の鉢花はシクラメンに代表され、夏季に高冷地へ山上げするリレー栽培、さらにジベレリン処理による開花調整など、新たな技術開発で品質の高いシクラメンの生産体系が確立されました。また、プリムラやサイネリア、グロキシニアなどの導入も各県にさがけて行われ、さらに、このころとしては新しい鉢花としてポットマムの研究会が活発な活動を展開するなど、27年前を振り返るだけでも隔世の感がいたします。

第17回大会の記念誌として発刊された『東京の花』は、今でも東京の花き園芸の歴史を知るうえで貴重な資料として各方面でも活用されております。このようなことから、本大会実行委員会では、大会を開催できる栄誉に恵まれたこの機会をとらえ、『東京の花』に劣らぬ記念誌を発刊しようと編集に取り組んでまいりました。

編集にあたっては、東京都の農業振興政策と花き振興の位置づけのほか、これまでのものと趣向を変えて、花き生産者の花に対する取り組み姿勢などを中心に紹介いたしました。

本誌の発刊にあたって執筆の中心的な役割を果たされた東京都農林水産部の皆様方には、心からお礼を申し上げます。また、制作を委託した家の光出版総合サービスの清沢和弘氏には、専門的な見地から種々ご助言をいただいたことを申し添えます。

本誌の執筆、編集にご尽力をいただきました方々には、ご芳名を掲げ、深甚なる感謝を申し上げます。

平成7年11月13日

第15回全国園芸鉢物研究大会実行委員会

事務局長 大竹道茂

執筆者

東京都労働経済局農林水産部農芸畜産課	橋本智明	東京都中央農業改良普及センター(西部分室)	菊池 豊
東京都労働経済局農林水産部農芸畜産課	永塚 誠	東京都中央農業改良普及センター(三宅支所)	大貫卓爾
東京都労働経済局農林水産部農芸畜産課	川野 進	東京都中央農業改良普及センター(三宅支所)	大浦知行
東京都労働経済局農林水産部農芸畜産課	荒川 昭	東京都中央農業改良普及センター(八丈支所)	荒巻一雄
東京都労働経済局農林水産部農芸畜産課	鈴木秀治	東京都中央農業改良普及センター(八丈支所)	村田 実
東京都農業試験場経営部	滝沢昌道	東京都西多摩農業改良普及センター	三田一也
東京都農業試験場八丈島園芸技術センター	吉岡孝行	東京都西多摩農業改良普及センター	金子章敬
東京都小笠原亜熱帯農業センター	津田朋和	東京都南多摩農業改良普及センター	吉田正道
東京都中央農業改良普及センター	金川利夫	東京都南多摩農業改良普及センター	前田 稔
東京都中央農業改良普及センター	和泉吉隆	東京都農業協同組合中央会	梅沢幸治
東京都中央農業改良普及センター	両角正博	東京都農業協同組合中央会	朝倉信明
東京都中央農業改良普及センター(東部分室)	岩崎康夫	東京都農業協同組合中央会	岸 康之
東京都中央農業改良普及センター(西部分室)	荒木俊光	東京都農業協同組合中央会	斉藤隆雄

(順不同、敬称略)

TOKYO FLOWER

第1版 平成7年11月13日発行

第2版 平成8年1月16日発行

編集・発行 第15回全国園芸鉢物研究大会実行委員会

〒190 東京都立川市柴崎町3-5-24 JA東京中央会内

電話 0425-28-1370

制作 株式会社 家の光出版総合サービス

〒162 東京都新宿区市谷船河原町11

飯田橋レインボービル

電話 03-5261-2302

印刷／株式会社平文社 製本／家の光製本梱包株式会社